さがそう、本当のしあわせ。
感じよう、本当の豊かさ。

HBC 北海道放送

THE MINKYOKYO

公益財団法人 民間放送教育協会
テレビのチカラ
北海道・東北・関東・甲信越地区大会 2026 北海道

入場無料
観覧には事前応募が必要です。
応募方法は裏面をご覧ください。

大会テーマ

クマをめぐる暮らしと社会

とき 2026.9.12(土) 13:00~16:00(開場12:20)

ところ 札幌市教育文化会館 小ホール(座席数360)
中央区北1条西13丁目7

司会・進行
HBCアナウンサー
波多野(はたの) 裕太(ゆうた)　森田(もりた) 絹子(きぬこ)

HBCのニュースで放送予定

第一部 基調講演「北海道の物語から見るクマと人の物語」

写真:新潮社提供

講師 河﨑(かわさき) 秋子(あきこ) 直木賞作家

北海道別海町生まれ・十勝地方在住。
北海学園大学卒業後、ニュージーランドで羊の飼育を学ぶ。
酪農を営む実家で働く傍ら、羊飼いをしながら作家デビュー。
明治時代の道東を舞台に、クマとの戦いに挑む猟師の姿を描いた『ともぐい』で直木賞を受賞。

『ともぐい』
明治後期の北海道の山で、猟師というより獣そのものの嗅覚で獲物と対峙する男、熊爪。図らずも我が領分を侵した穴持たずの熊、蠱惑的な盲目の少女、ロシアとの戦争に向かってきな臭さを漂わせる時代の変化……すべてが運命を狂わせてゆく。人間、そして獣たちの業と悲哀が心を揺さぶる、河﨑流動物文学の最高到達点。

第二部 パネルディスカッション「クマとメディアを考える ~どう伝え、どう活かすか~」

パネリスト

タレント・映画監督
鈴井(すずい) 貴之(たかゆき)

大学在籍中に演劇の世界に入り、1990年に劇団「OOPARTS」を結成。解散後は、タレント・構成作家として北海道のテレビ番組などに携わる。
2001年からは映画監督としても活動し、2010年には「OOPARTS」を自身のプロジェクトとして再始動。現在は作家・演出家・タレントとして活動し、「北海道道」(NHK札幌)や「今日ドキッ!」(HBC)にも出演している。

公益財団法人 知床財団 事業部 参事(野生動物/公園戦略担当)
金川(かながわ) 晃大(てるひろ)

知床世界自然遺産地域において、ヒグマ・エゾシカ対策業務に従事。野生動物と人との関わりをテーマに、道内各地で講演活動を行っている。

HBCデジタル戦略部「Sitakke」「クマこそ」編集長
幾島(いくしま) 奈央(なお)

報道部で記者を経験したのち、WEBマガジン「Sitakke」や、クマとの"いい距離の保ち方"を考えるサイト「クマこそ」の運営を担当。ドキュメンタリー映画『劇場版 クマと民主主義』監督。

主催 公益財団法人 民間放送教育協会　後援 文部科学省/総 務 省/北海道/北海道教育委員会/札幌市/札幌市教育委員会
協賛 第一交通産業グループ DAIICHI　主管 HBC 北海道放送
■地区当該放送局:北海道放送/青森放送/IBC 岩手放送/秋田放送/山形放送/東北放送/福島テレビ/新潟放送/信越放送/山梨放送/テレビ朝日

公益財団法人 民間放送教育協会 テレビのチカラ 北海道・東北・関東・甲信越地区大会 2026 北海道

大会テーマ

クマをめぐる暮らしと社会

北海道のみならず、日本全国でクマによる人的被害が報告されています。クマをめぐる問題を考えることは、私たちの暮らしや社会のあり方・価値観を見つめ直すことにつながります。
現代社会における喫緊かつ重要な課題として議論を掘り下げ、考えるきっかけを提供します。

大会プログラム

12:20	開場
13:00	オープニングアクト／左手のフルーティスト　畠中秀幸 共演：HBC少年少女合唱団
13:30	■第一部 基調講演 **北海道の物語から見るクマと人の物語** 講師 **河﨑秋子** 直木賞作家
	■第二部 パネルディスカッション **「クマとメディアを考える ～どう伝え、どう活かすか～」** パネリスト 河﨑秋子　直木賞作家　著書『ともぐい』『夜明けのハントレス』 鈴井貴之　タレント・映画監督　今日ドキッ！（HBC）コメンテーター 金川晃大　知床財団　事業部参事（野生動物/公園戦略担当） 幾島奈央　HBC　ドキュメンタリー映画『劇場版 クマと民主主義』監督
16:00	終了

左手のフルーティスト
畠中 秀幸

25年9月放送のHBC制作「日本のチカラ」では同氏を描く。建築家・音楽家。脳卒中による右半身の障がいを乗り越え、建築家、左手のフルーティスト、指揮者として活動。著書『左手のフルーティスト』や初ソロCD『音の建築』を発表し、HBC制作ドキュメンタリー映画『矛盾に抱かれて』に主演。

観覧の事前応募方法

HBC北海道放送のホームページ、
または右下のQRコードからご応募ください。

※お電話・はがきでの受け付けは行っておりません。

■お申し込みはお一人様1回までです。
■複数名で参加される場合も、参加者ご本人がそれぞれお申し込みください。
※自由席ですのでグループで並んで着席いただくことも可能です。
※応募多数の場合は抽選となります。

応募締め切り **8月31日（月）　17:00まで**

【個人情報の取り扱いについて】
お申し込みいただいた皆様の個人情報は、北海道放送の個人情報取扱規定に基づき、今回のイベントに関する目的にのみ利用いたします。目的外での利用はいたしません。
【お願い】
・当日、発熱のある方は参加をお控えください。
・観覧席での飲食・喫煙は禁止しております。
・場内での撮影・録音（携帯電話・スマートフォンを含む）は一切禁止です。
・主催者が撮影した画像、映像、音声を公開することがあります。
あらかじめご了承ください。

問い合わせ先　TEL：011-232-5862
北海道放送 編成部 民教協北海道大会事務局（平日 10:00～17:00）

会場マップ

■札幌市営地下鉄東西線「西11丁目」駅、1番出口から徒歩5分
■市電「西15丁目」停から徒歩10分
■ジェイ・アール北海道バス、北海道中央バス「北1条西12丁目」から徒歩1分

民間放送教育協会とは

THE MINKYOKYO

公益財団法人 民間放送教育協会(略称:民教協)は、放送を通じて教育の機会均等と振興に寄与することを目的として、1967年に文部省（現在の文部科学省）の認可を受けて設立されました。それぞれの地域を代表する全国33の民間放送局で組織され、既存の系列を超えて全国をカバーできる民放唯一のネットワークです。賛助会員として日本国際放送も加盟しています。

電波による生涯学習普及を目指し、「日本のチカラ」などの社会教育・教養番組を加盟社の共同企画・制作によって全国に放送しています。また、視聴者・行政・放送局の三者による研究協議会をはじめ、生涯学習に関する様々な活動を展開しています。